



第208号

平成30年5月10日号

特別養護老人ホーム 作 楽 荘

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5111・FAX (0532) 48-5112



創立30周年記念式典 祝宴オープニングを飾る華麗な演舞と心に響く和太鼓の音

目 次

30周年	2
創立30周年記念式典を終えて	2
(福)一誠福祉会理事長 滝川 一	2
実行委員会から報告と御礼	3
創立30周年記念事業 実行委員長 滝川 一成	3
記念式典での私のMC体験記	4
特別養護老人ホーム麗楽荘副荘長 鈴木 恒也	5
事業計画	5
平成30年度「一誠福祉会」事業計画	5
(福)一誠福祉会本部長 後藤 英夫	6
入社式	6
平成30年度「一誠福祉会」入社式「辞令交付式」	7
特別養護老人ホーム麗楽荘 荘長 小島 寛晶	7
社会人に向けての決意	7
特別養護老人ホーム麗楽荘 介護士 横田恵里菜	8
新人研修	8
平成30年度「一誠福祉会」新人職員研修	9
老健ヘルヴューハイッツ 事務長 夏目 民夫	9
「新人職員研修」を受講して	10
事業紹介 作楽荘「散歩のできるタイプ」	10
デワリスセンター 作楽荘生活相談員 安藤 裕司	10
職場研修レポート シリーズ⑥「まとめ編」	11
デワリスセンター 吉わり介護士 滝川 一善	11
ふるさとの風物	12
シリーズ⑥「戦国期 遠江・浜名湖周辺の城郭」	12
老健ヘルヴューハイッツ 生活相談員 高橋 初典	13
言語聴覚 シリーズ①から始まる介護	14
老健ヘルヴューハイッツ 言語聴覚士 本田 雄一	14
施設だより	15
*作 楽 荘	22
行事第一弾は春の茶会 特養介護士 高瀬 秀斗	22
渾仏会で心晴れ晴れと特養介護士 菅澤 洋介	22
*美光ハイム	22
茶話会は外食で 介護士 萩森 明子	22
*倶 楽 荘	22
結婚六十周年を迎え 特養入居者 中川 松王	22
春を感じる梅花見GH介護士 竹下 能子	22
*ス 楽 荘	22
生活相談員として 生活相談員 榎原 隆誌	22
*ヘルヴューハイツ	22
懐かしの蒸しパン作り 老健事務長 夏目 民夫	22
ホワイトデーの梅見学 老健事務長 夏目 民夫	22
*DSC吉かわ	22
桜咲く雛祭りイベント 介護士 大坪 三恵	22
*麗 楽 荘	22
防災訓練の重要性 特養介護士 松本 拓郎	22
楽しい手芸教室 デイ介護士 杉浦 有紀	22
*和光ハイム	22
矢部八幡神社祭礼 生活相談員 川崎 俊弘	22
*GHうらら	22
梅林へお花見に 介護士 齊藤百合子	22
*奇 楽 荘	22
運営推進会議 介護士副主任 柳生 康紀	22
*GHきんぎょ	22
新城の再発見 介護士 水野 忍	22
施設日誌/編集後記	22

30周年

創立30周年記念式典を終えて

(福)一誠福祉会理事長 滝川 一 亮

この度の法人創立30周年記念式典は、お陰様をもちまして滞りなく盛大に執り行う事ができました。皆様方に衷心より厚く御礼申し上げます。

開催日の平成30年3月30日(金)は、発起人である名誉会長(前理事長の故滝川一興)が30周年の「30」にちなんで生前に提案したものです。それ自体はとても良いのですが、さすがに年度末の金曜日となると式典に参加できない来賓の方が多数いらっしやるのではないかと、大変心配しておりました。そんな心配をよそに、ご多忙中にもかかわらず多数のご臨席を賜

り、ほっと胸を撫で下ろしているところです。

また、記念誌発行におきまして、お忙しい中にもかかわらず多数の玉稿をお寄せ下さり、お陰様で30周年にふさわしい充実した内容となりました。関係者一同、大変感謝致しております。

記念講演では、中村耕三東京大学名誉教授に、「ロコモティブシンドロームの背後にあるもの(脚はなんのためにあるのか)」を演題に講演して頂きました。歩く事で健康寿命が10年延びるそうなので、運動不足の私としては、まずは散歩からチャレンジしてみたいと

思っております。

かつては私も縁あって東大整形外科教室に入局させて頂き、日夜研鑽を積んだ時期があります。

その頃、中村耕三先生執刀の脊椎の手術に助手として立ち会わせて頂いた事を懐かしく思い出しました。そして、つい昨日の事の様なその出来事が、すでに20年以上も前であることに気づき、月日の流れのあまりの早さに愕然とさせられました。

実は、私も医師免許を取得してからちょうど30年目になります。自らの歩み来た道を振り返ってみますと、多くの方々に支えられ、育てて頂いて現在の自分がある事に気づきます。禅語にも「生死事大 無常迅速 各宜覚醒 謹莫放逸」とあり

ますように、これからも感謝を忘れず、一日一日を大切に過ごしていかなければと、改めて覚醒させて頂きました。



後援会豊橋・新城に感謝状授与

今後につきましても、法人が掲げる「ノーマライゼーション」の理念の下、地域の皆様にアットホームでより一層質の高いサービスを提供するべく、職員共々取り組んでまいります。

相変わらぬご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

30 周年

実行委員会から報告と御礼

創立30周年記念事業 実行委員長 滝川 一成

実行委員長として創立30周年式典を終え、肩の荷がひとつおりました。

振り返れば、初回の平成27年3月を皮切りに、全16回の実行委員会を開きました。各施設の代表職員20名と後援会豊橋・新城理事各2名で構成する実行委員会では、各々の立場からのご意見やご要望を頂戴しました。

まずは初会合の委員長挨拶で、次の4点をお願いしました。①予算は25周年より控え目にする。②無理なくスケジュールを組み、当日は時間通りの進行とする。③多数の職員に参加してもらう。

④優良職員表彰は過去受賞していない人を対象とする。そして、総務・会計・記念誌編集・会場運営の係りに割り当てられた各委員が、それぞれの準備を進めてきました。

3年を経て本年3月30日、ホテルアソシアには政財界から来賓15名、福祉・医療関係者28名、理事・評議員及び後援会理事36名、茶道講師9名、地区民生・自治会5名、ボランティア15名、滝川家親族10名、職員78名、その他32名、総勢228名の方々が参列されました。I部の式典は、岩崎理事の開式の辞で始まり、

理事長挨拶・来賓祝辞へと続きます。そして後援会豊橋・新城と各ボランティアへの感謝状贈呈、優良職員表彰状授与があり、福井後援会豊橋副会長の閉式の辞で先ずは式典を締めくくりました。

II部は、中村東大整形外科名誉教授の、「ロコモティブシンドロームの背後にあるもの」という演題による記念講演です。高齢者にとってロコモ予防・転倒予防がいかに重要であるかを説かれ、大腿四頭筋の鍛え方、手軽にできる運動法などを紹介されました。自分の足で歩くことが望ましく、歩くことで健康寿命は10年のびるそうです。

III部の祝宴は、豊丘高校和太鼓部のオーブニン

グ演奏です。若さ一杯の笑顔と躍動感に溢れた舞台には、太鼓と笛と鉦鼓の音が鳴り響きました。後半のピアノとクラリネットのカルテット、ミューズによる優雅で落ち着いた演奏と共に、大いに盛り上げてくれました。

宴の中でこの間、倉橋後援会豊橋監事の乾杯、穂積新城市長の祝辞、井上後援会豊橋会長の万歳三唱などと進行了ました。皆々様のご協力とご支援を頂き、記念事業は無事終了しました。そして、当初4点の私の希望はすべて達成されました。

一誠福祉会は30年の経験を生かし更に福祉貢献を目指しますので、今後ともご指導ご鞭撻をお願い致します。感謝九拝

30周年

記念式典での私のMC体験記

特別養護老人ホーム麗楽荘 副荘長 鈴木恒也

麗かな春の陽気にも恵まれて、「感謝そして未来へ」をサブテーマとする「創立30周年記念式典」には、各界からの来賓始め、法人の関係各位や職員など、多くの皆様に参列して頂きました。

会場となったホテルアソシア5階は、華やかな振袖も混じる和服姿やドレスアップした女性の参列者で、明るい雰囲気にも包まれていました。

そんな中、一人プレッシャーと戦っていた私。昨年のこと、今回のMC役がエフエム豊橋の天野二美パーソナリティーに決まると、男性職員との

ペア案が持ち上がりました。実はその時、やる気満々の某部長を敵に回す決選投票で、私が圧勝してしまっただけです。

それはさておき、式典は厳かなムードの中で始まりました。相方の天野さんはさすがプロ。私のそんな心の内を知ってか知らずか、明るく元気に



息もぴったり 進行役のMCペア

テキパキと、タイムテーブル通り順調に進行してくれました。私はいえば、彼女にさりげなく促された場面に限った、比較的楽なセリフの役回りに決めておいたのです。

式典が終了してⅡ部に入る頃には、やっとプレッシャーも中程度。舞台袖から拝聴した中村先生の講演は、老人介護の仕事に携わる立場からも大変印象深いお話でした。

ロコモティブシンドロームとは、運動器の障害により日常生活に制限をきたし、介護や介助が必要になってくる状態、またはそのリスクが高くなっている状態のことを意味すると、丁寧に分かりやすく説明されました。中だるみが予想される

中盤には、会場の皆さんが立ち上がり身体の衰えを体感する場面もありました。終始穏やかな表情とテンポ良い話し方で、聴衆を魅了されました。



中村東大名誉教授の特別講演

そしてⅢ部の祝宴になると、既にプレッシャーは小程度。舞台のアトラクションを楽しむ余裕すら感じました。

今後大役を選ぶ際には積極的に手を挙げて、今回の貴重な体験を生かしたいと思っています。

事業計画

平成30年度「誠福社会」事業計画

(福)一誠福社会本部長 後藤 英夫

本年度の当法人「事業計画」とその予算が、理事会及び評議員会で承認・議決されました。

法人本部の事業計画については、次の3本柱を経営方針としております。

一、介護報酬改定への対応
二、キャリアパスの適正な運用

三、本部機構の強化・充実



事業計画を承認する理事会

これに則って、以下の10項目につき重点的に実践していくこととなります。

① 理事会・評議員会・本部の連携強化

② 人事委員会の設置・運営

③ 主任層・管理職層の育成

④ アウトソーシングの見直し

⑤ 内外学会における研究発表の奨励と推進

⑥ 地域における公益的取り組みの充実

⑦ 介護負担軽減のための努力

⑧ 会計監査人の選考

⑨ 制服の統一

⑩ 在宅部門稼働率アップの推進

また、各事業所の事業計

画は、本部経営方針を基本として、それぞれ特色をもつて作成されております。

さて、思い起こせば丁度

1年前、平成のビッグバンともいわれた平成12年の介護保険制度導入と同様に、社会福祉法人を揺るがす制度改革が実施されました。

その主たる内容は、経営組織のガバナンスの強化／事業経営の透明性の向上／財務規律の強化／地域における公益的な取り組みを実施する責務／行政の関与の在り方、の5項目でした。

とりわけ、ガバナンスと財務規律の強化に関しては、

評議員会及び評議員選任・解任委員会の設置／理事会の設置／役員の権限・責任に係わる規定整備／親族等特殊関係者の理事等への選任の制限に係わる規定整備

／役員報酬基準の作成と公表／役員等関係者への特別の利益供与の禁止、等々新たな難題ばかり。当法人としても可及的速やかに対応すべき状況にありました。

その実働部隊本部は、四苦八苦しつつも何とか山場を乗り切ったとはいえ、いくつかの課題を残しました。

現在まさに、当法人に限らず社会福祉法人に求められるのは、独自の経営戦略とともに、当法人の事業計画3本柱の一つ、本部機構の強化・充実です。

私はこの4月より本部長の職を仰せつかり、今この立場の持つ意味を大変重く受け止めています。強固な本部を目指しつつ、職員の皆さんと共に全力で、これからの難局に立ち向かっていく決意しております。

入社式

平成30年度「誠福社会」入社式・辞令交付式

特別養護老人ホーム麗楽荘 荘長 小島 寛 晶



入社式の始めの理事長挨拶

理事長挨拶で「目標」「継続」「報・連・相」の意味を、すなわち、何事にも目標を持つことの必要性、継続することの大切さ、そして報告・連絡・相談することの重要性をご教示頂きました。頭では分かっているけれども、いざ実行の段となると完遂し難いことばかりです。

さて、今年は寒い冬と暖かい春から休眠打破が早まり、全国的に桜の開花も早まりました。4月2日の当日は、やはり作楽荘の桜も既に見頃を少し過ぎていましたが、暖かな日差しを浴びた白ともピンクともいい難い花弁と緑の葉とのコントラストが、風趣ある情景を織り成し、式参列の職員を祝福してくれました。

一誠福社会創立30周年という栄えある節目の本年度は、新卒4名を含む新入職員9名、役職者12名、一般職員21名（代表者）に対し、理事長より辞令が授与されました。

続く新卒新人職員代表の麗楽荘横田恵里菜さんによる「誓いの言葉」では、緊張の中にも熱意と初々しさが感じられ、参列者の皆さんには胸にグツと来るものがあつたのではないのでしょうか。

最後に会歌を全員で斉唱して、無事滞りなく式は終了しました。



式を終えて記念写真も晴れ晴れと！

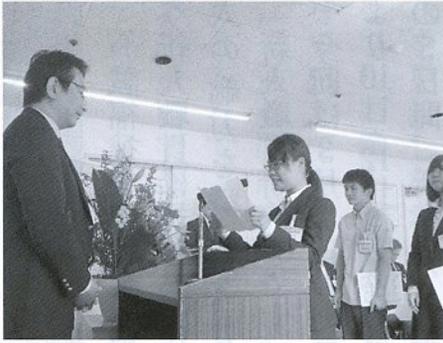
そして再び幹部職員を集め、本年度は以下の点を重視しながら一丸となり頑張っていきたいと、理事長より訓示がありました。①介護報酬改定の年にあたり、在宅系サービスは更に厳しい状況下にあるので、テコ入れが必要不可欠であること。②キャリアパス構築の昨年からの、今年は重要となる運用のステップを迎えること。③新本部長を中心として、本部機構の運営を強化していくこと。

最後に、誓いの言葉のようにノーマライゼーションの理念の下でいつまでも初心を忘れず、スマイルが続く法人で在り続けることを切望しながら、自らもそれを率先していききたいと思っています。

社会人に向けての決意

特別養護老人ホーム麗楽荘介護士 横田 恵里菜

三月に受講した五日間の新人研修を終えると、日を追う毎に綺麗な桜が開花してきました。そして桜の満開がちょうど過ぎた頃の四月二日、私は入社式で、新入職員を代表して誓いの言葉を讀ませて頂きました。



緊張の中にも堂々と宣誓

私は幼い頃から曾祖母が大好きで、一緒に話し

をすることや遊ぶことが楽しみでした。そんな理由から、高齢の方と過ごす時間が長い介護の仕事を目指し高校を選びましたが、様々な勉強や実習などに追われて介護の世界の大変さに怯んでしまい、一度は事務員志望に方向転換しました。しかし介護実習で麗楽荘にお世話になった際に出会った、利用者の方々の笑顔が忘れられず、もう一度介護に携わっていきたいと思い一誠福祉会への応募を決意しました。

今はまだまだ利用者の方の名前や顔がしっかりと覚えられず、何度も先

輩に教えて頂くことや、自分に自信がなくて、不安な気持ちのまま利用者の方に向き合い介助をさせて頂いてしまっているところがあります。できる限り早く利用者の皆様のお名前や顔を覚え、少しでも利用者の方々にも自分自身にも負担の少ない介助ができるよう、知識を蓄え経験を積んでいきたいと考えています

理事長が仰っていたように「報告・連絡・相談」を怠らず、失敗や事故を未然に防ぐことができるように気をつけながら、一日でも早く成長していきたいよう努力していきたく強く願っています。

諸先輩方のご指導ご鞭撻を、よろしくお願いいたします。

誓いの言葉

私たちは今日、入社式という人生の節目の日を迎え、新たな第一歩を踏み出そうとしています。

一誠福祉会が創立三十周年の節目の日を迎えたことを知りました。三十年の歴史に支えられた一誠福祉会で働けることに、誇りと喜びを感じて感謝しながらも、身の引き締まる思いがします。

これからは益々、高齢者福祉が大きな社会問題になってくるものと思われれます。私たち若者が率先して、その担い手とならなくてはなりません。とは言いながら、まだまだ未熟な私たちですので、これからは諸先輩方のご指導を仰ぎながら、少しずつでも一歩一歩福祉に貢献していきたく思っています。

今日の初心を忘れずに、いつも笑顔がけながら、一誠福祉会で精一杯努力していくことをここに誓います。

新入職員代表 横田 恵里菜

新人研修

平成30年度一誠福祉会「新人職員研修」

老健ヘルウエーハイツ事務長 夏 目 民 夫

一誠福祉会の将来を担う新人職員に対し、当法人の総力を挙げて臨む「新人職員研修」です。

今回は3月7日の初日より10日・12日・15日・17日の5日間、新卒者・既卒者の総勢23名を対象として実施しました。例年はもう少し間隔を開けて日程を組むのですが、今年は3月30日に「法人創立30周年記念式典」を控えているため、凝縮した日取りとなりました。

初日、オリエンテーションに続く開講式における滝川一亮理事長の挨拶では、①目標を立てる事、②失敗を恐れない事(失

敗を土台として人は成功する。一人で抱え込まずホウ・レン・ソウ《報告・連絡・相談》を心がける)、③自信を持つ事、などこれから社会人として組織の人間として、また人として大切な事について話がありました。そしてここから、各部門の担当職員などを講師とする講義へと入りました。

本研修は職員としての心得から、組織・施設の概要、高齢者介護についての最低限必要な知識の習得や技術の習得方法まで多岐にわたり、新卒職員にとっても既卒職員にとっても業務基本の確認

が出来たと思われず。今回は、講師として各カリキュラムを受け持つ職員の、講義内容をいかに分かりやすく受講者に理解してもらおうかと資料作成など下準備をしてきた努力の成果が、それぞれの講義を拝聴して強く感じました。



明るい雰囲気で講義をする講師

全体を通して、講義を担当する職員にも受講者の皆さんにも、今年集めた真剣な姿勢とともに、日に日にリラックス

した雰囲気が見受けられる新人研修でした。



受講者の皆さんも笑顔で応えます

毎年、この新人研修を通して一誠福祉会の職員としての基本を学びます。しかしここで、知識や技術を、完璧に頭に叩き込んだり身につけたりできるわけではありません。これからのお年寄りとの対応の中で、常に学ぶ姿勢を心がけながら、応用力を養い実践力を磨き、日々成長していただく。期待しています。

「新人職員研修」を受講して

特別養護老人ホーム作楽荘介護士 外 狩 頌 太

「平成30年度新人職員研修」が3月7日～17日の間の5日、作楽荘とタキカワ整形外科クリニックで開催されました。

私は学生を卒業したばかりの一社会人として、この一誠福祉会に就職できたことを大変うれしく思っています。介護の仕事は汚くてやりたくない仕事とも言われ、世間ではあまり良いイメージがないようです。ところが、この新人研修の受講を重ねる毎に、とても重要でやりがいのある仕事だと分かってきました。

1日目の作法とマナーの講義では、物品の授受

や電話の応対などはもちろん、高校時代にもやっていたお辞儀の仕方や挨拶などを教えていただきました。社会に出てから必要不可欠なことばかりなので、しっかりと覚えて、臨機応変に使いこなせるまで習得したいと思っています。

2日目の車椅子と介助方法では、実際に車椅子とベッドを使って実践的に介助方法を体験することができました。初めてのことばかりで分からないことだらけでしたが、講師の杉本先生が分かりやすく教えてくださったので、現場に入ってから

は、少しずつでもできるようになっていきたいと思います。また実際に利用者様の側に立つ視点から体験することもでき、怖いと感じることも分かったので、声掛けの重要性を強く感じました。



研修4日目午後の現場実習で、夏目主任の指導を受ける

5日目の最終日、タキカワ整形外科クリニックの講義では、医師・看護師やその他医療専門職の方々から専門的な講義を受け、介護士として必要な知識を得ることができ

ました。研修マニュアルには略語など仕事の際に必要なことが沢山記載されているので、いつでも確認できるようにしておきたいと思います。

私はこの研修で学んだことを忘れることなく、日々の仕事に生かしていきたいと考えています。略語などまだまだ覚えきれませんが、しっかりと学びながら先輩方にご迷惑をかけないように努力していく所存です。

現場に入ってから以来、新しいことばかりで勉強の毎日です。少しでも早く職場に溶け込み、先輩職員の皆様のご指導を受けながら、笑顔で利用者様へのノーマライゼーションの実践に汗を流したいと思います。

事業所紹介

作楽荘「散歩のできるデイ」

デイサービスセンター作楽荘生活相談員副主任 安藤裕司

私どもは、「人は立位をとることによって自己の空間的存在を認知する」ことの実現に努めます。

昨年よりデイ作楽荘は、「散歩のできるデイ」として歩行訓練に力を入れてきました。特に「あんしん2本杖」を使用して、ノルディックウォーキングを始めました。これは、スキー競技で使用するストックの様な2本の杖を両手に持ちながら歩行する、今、比較的若い人達が楽しんでいるスポーツの一種です。作楽荘デイのお年寄りも抵抗なく、カッコ良く颯爽と歩いていらっしやいます。



荘内廊下をウォーキング中

実際に歩行器を使用していたMさんなどには、「背筋が伸びて歩けるようになったよ」と良い効果も見られています。勿論、歩行器なしでは怖くて歩けない方や、逆に「私は杖なんか要らない！」と何もなしで散歩する方もいらっしやいます。当事業所は、特養作楽

荘と共有する広い敷地に恵まれている為、荘内廊下は1周68メートル、花壇や银杏の木の美しい中庭は1周56メートルと、「手軽に、安全に、楽しく」散歩するのにとても適した環境にあります。車椅子のお年寄りで、「散歩なんてとても…」と言われる方でも大丈夫。当施設には長さ4メートルの歩行補助の平行棒があり、頑張つて5往復も10往復も歩いてくれる方もいらっしやいます。

「とは言っても人それぞれです。運動が大嫌いな方もいますよね。はい、心配ご無用です。当事業所においては、一切強制することはございません。お年寄りの皆様に、「やりたいことをやって、楽しく帰って頂く」ことをモットーとしております。皆様が、麻雀・囲碁・将棋からカラオケ・トランプ・花札・パズル・計算問題・脳トレプリントそして編み物など、お好きなことをして過ごしていらっしやいます。

そして機能訓練の時間には、体操は勿論のことですが、ペタンク・ゴルフ・ボウリングなど誰にでもできるスポーツで、楽しく体を動かされています。スタッフが、様々な訓練機能のうちから希望に沿うスポーツを選んでお勧めします。朝の淹れたて珈琲を飲み、好きなことをして楽しみ、満足して帰って頂くと、スタッフ一同の働き甲斐も高まります。

職場研修レポート

シリーズ⑥—まとめ編

デイサービスセンター吉かわ介護士主任 滝川 一 善

法人の関係者や一部の職員から代わるがわる長年に亘ってお声かけいただき、一誠福祉会へ入職することとなった平成二十八年。入職時に渡された研修期間は約二年という長期に及ぶものでした。転職には相応のリスクを伴うものですが、一家の主である中年には相当の覚悟が必要で、その覚悟を持って移籍したつもりも、実は度重なる環境の変化に心がへし折られそうになったことは一度や二度ではありません。

結果として、すべての法人内施設を廻ることはありませんでしたが、特養(小規模含む)・老健・グループホーム・デイサービスと一通りの事業所にて介護の現場を経験することができました。個人的には実りある期間であったと思っています。実はデリケートでナイーブな性格なのですが、見た目に初々しいどころかふてぶてしく、図々しくて可愛げのない変なニューフェイスへの対応に苦慮された方も多数いることでしょう。ご面倒をおかけしたと思います。

他方、世話になった方々のうち、何名かが既に離職してしまっているという現実。理由はそれぞれでしようが、やはり行きつくところは「人間関係」という話も少なくはありません。職場において、良好なチームワークは必要ですが、まずすべきことは仕事です。思い通りにならないこともあるでしょうし、意見を違えることもあるでしょう。それを即、人格に結びつけてしまうと、「人間関係」という理由の形成になってしまいます。善い行いをしたからと言って必ずしも自分が良い目にあえるわけではありません。人を非難したり攻撃したりすると因果応報で必ず自分に返ってきます。ましてや、それらの行為は何の努力も必要としないので、自ずと評価もそれなりに。

将来は、高齢者人口も減少に転じていきます。こういう長期的な視点で考えた時、「いの一審」に必要なことは常にアンテナを張り続け、刻々と変化するニーズを的確に掴み、着実に対応することです。自分たちが今までやってきたことを今後も変わらずやっていくというだけでは、「旧態依然」の状況に陥ります。新たな知識も技術も取り込んでいかねばなりません。各施設・各部門責任者にはリーダーシップ、スタッフにはポテンシャルの発揮を大いに期待したいところです。そして、それを実現することが可能な職員が、数多く存在していると理解できた研修でありました。(了)

ふるさとの城郭

シリーズ⑯ 戦国期遠江・浜名湖周辺の城郭(前編)

老健ヘルヴェーハイツ生活相談員副主任 高橋 初典

昨年の大河ドラマでは「おんな城主・直虎」が放映され、遠江・三河一帯が舞台となりました。その中で浜名湖周辺の城も度々登場しましたが、今回は前編として、より詳しく遠江・浜名湖一帯の城跡を紹介したいと思います。

戦国時代の遠江国(静岡県西部)は、長らく守護大名今川氏の領国でした。しかし、十一代当主義元が上洛する際に尾張の桶狭間で織田信長に討たれてしまいます。それに乗じて、今川氏の先鋒を務めていた松平元康(徳川家康)は故郷の三河・岡崎で独立を果たし、三河平定後は遠江

へ侵攻を開始します。その際、今川氏を見限らず家康に敵対した遠江の家臣団がほとんどでした。

まずは、二百年以上にわたり浜名氏が治めた「佐久城跡」です。城は浜名湖に突き出た半島上にある水城で、貞和四年(1348年)、浜名清政によって築かれました。浜名氏は源頼政の末裔と云われ、戦国期には今



佐久城の馬出曲輪と本橋丸の空堀に架かる土橋

川氏に従っていました。永禄十二年(1569年)、家康の遠江侵攻の際に浜名氏十代目頼広が徹底抗戦し、一族は滅亡します。その後は、徳川氏の家臣本多信俊が入城し、武田氏への備えの城として大改造を行いました。

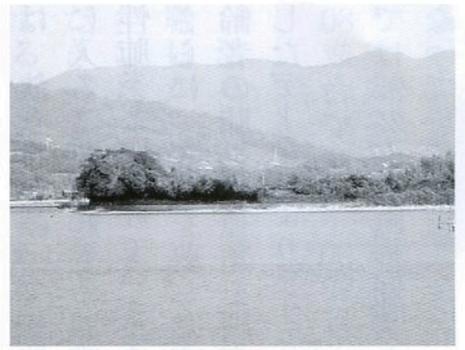
現在の城跡は、リゾートマンションが立ち並ぶ別荘地帯になっていますが、小振りながら主郭や馬出し・堀・土橋等が大変保存状態良く残存しており、一見の価値があります。東急浜名湖リゾートヴィラG棟の突き当り手前に登城口があり、駐車スペースも数台分あるので、浜名湖周辺を訪れた際に興味のある方は是非立ち寄ってみて下さい。次は、佐久城に替わる浜名湖一帯の支配拠点として築かれた、同じく水

城の「野地城跡」です。家康は、佐久城が湖北街道から離れているうえに手狭であったので、天正十一年(1583年)、浜名湖北西部の猪鼻湖に面した大崎半島に野地城を築城しました。



野地城の本丸水堀跡

天正十年(1582年)、本能寺の変で討たれた織田信長亡き後に台頭した羽柴秀吉の侵攻に備え、最終拠点を駿府(静岡市)に移すとともに、駿府へ通じる湖北街道(姫街道)を抑えるために野地城を築城したと思われれます。



大崎半島の野地城址全景

家康は、天正十二年(1584年)に秀吉との間で勃発した「小牧・長久手の戦い」の際に、岡崎に居た家臣の女子供衆を遠江へ疎開させています。その時に野地城が使用された形跡があります。野地城の縄張りとはとにかく広大で、主要な部分はミカン畑に改変されていますが、現在も七つの曲輪や、幅・広さに七mに及ぶ堀と土塁が沢山残存し、二十年程前までは現在より保存状態が良

かったようです。

家康は「関ヶ原の戦い」に勝利して江戸幕府開府後も、野地城を幕府直轄として代官に支配させました。将軍家上洛時の駐屯地に位置付けして、寛永三年(1626年)、三代将軍家光が上洛した際には休憩所として使用され、豪華な御殿も造営されました。その後、延宝八年(1680年)の五代将軍綱吉の時代に廃城となりますが、幕末の文久二年(1862年)、十四代将軍家茂(いへもち)上洛時の準備のため、城地の取り調べが行われたとの記録が残っています。ちなみに廃城後の建築物は、新居関所へ移築して再利用されました。最後は、本坂峠から東3km程に位置し、すぐ南側に姫街道が通る平山城

の「日比沢城跡」です。

この城は、佐久城主浜名氏に従う日比沢・後藤氏が戦国中期より居城しており、三河地方に備える最前線の城でした。永禄十一年(1568年)、家康の遠江侵攻の際に、当時の城主後藤直正は浜名頼広に追隨して日比沢城に籠って抵抗しますが、一族の本坂・後藤実久が徳川氏へ内通した事により軍門に降ります。その後、本坂・後藤氏が城主となりますが、豊臣秀吉の命で徳川家康が関東へ移封されたことにより廃城となります。現在の日比沢城は、こちらも大部分がミカン畑に改変されていますが、本曲輪と東曲輪が残存しています。また、本曲輪の西側から北側にかけて、深さ・幅共に5mの堀が

百五十mにわたって残っており、その姿は圧巻ですが、竹が生い茂っていますが、本曲輪は土塁の高さも3mを誇り、とても良い状態で残存しています。私有地になっただけで、難しいと思いますが、保存整備を行い後世に伝える欲しいものです。



日比沢城の本曲輪と西曲輪とを区切る百五十mの土塁

次回からも、舟隠し場の遺構が残る宇津山城や堀江城、そして家康が老若男女を皆殺しにした堀川城等、浜名湖周辺の城跡について紹介していきます。

シリーズ—口から始まる介護③

老健ベルユーハイツ言語聴覚士 本田 雄 一

前号でふれた日本人の3大死因について、より詳しくご説明します。

長年にわたり第1位が、第2位心疾患、第3位脳血管障害でしたが、2011年以降は脳血管疾患に代わり肺炎が第3位で、その90%以上が65歳以上の高齢者です。

肺炎のうちの70%以上は、飲食物が誤って気管に入ることと起きる誤嚥性肺炎といわれています。さらに、入院を要した高齢者の肺炎の種類を調査したデータによりますと、80歳台で80%、90歳以上では95%が誤嚥性肺炎となっています。

高齢になると、どうしても身体の機能が低下してしまいます。そのために、普通なら高熱・咳・痰などのひどい症状から肺炎と認められる場合であつても、あまり目立つた症状が出ず、重症となつてしまつてから治療を始めるというケースも少なくありません。

なんとなく元気がない、食欲がない、食事に時間がかかる、のどがゴロゴロ口鳴るなど、一見して肺炎とはわからないような軽い症状しか現れないことが多いのが誤嚥性肺炎の特徴です。したがって高齢者の場合には、周り

の方がそのような症状にも注意をしてあげる必要があります。

基本的に、誤嚥性肺炎は肺の中で細菌が繁殖することにより起きます。また誤嚥性肺炎の最大の原因は、飲み込む力（嚥下力）の低下です。そのため、一度誤嚥性肺炎を起こした人はその後、何度も繰り返してしまふことがあります。誤嚥性肺炎になり、治療を受け、：と繰り返しているうちに、やがて薬に対して抵抗できる耐性菌ができてしまいます。すると、その後の治療が難しくなつてしまふのです。

また、誤嚥性肺炎は食べ物だけではなく唾液により発症することもあります。健康な成人では通

常1日に唾液を飲み込む回数は500回、その量は15リットルにも達します。高齢者では唾液の分泌量がどうしても減つてしまふので、水分である唾液が不足したまま、上手く誤嚥せずに飲み込まなければなりません。

それも、きれいな唾液を誤嚥するのならまだ良いのですが、口腔内には10万個の細菌がいるといわれています。さらに、起きている時には上手く飲み込むことができたとしても、寝ている時には意識的に飲み込むことはできません。

このために、夕食後や就寝前の口腔ケア（歯磨き・入れ歯の手入れなど）がとても大事になってくるのです。

（続く）

施設だより

作楽荘

○行事第一弾は春の茶会

特養介護士 高瀬 秀斗

桜の花咲く季節、新年度がスタートしました。

年間行事第一弾として、4月5日は玄関前の桜の木の下で春の野点茶会を開く予定でした。しかし、当日は風が大変強くさらに寒かったため、室内での茶会となりました。

集会室に席を替えてお道具も移動し、午後から茶会は始まりました。利用者さんを4人ずつ順番にお連れすると、作楽荘の職員が点てた煎れたての抹茶と、春の季節が感じられる桜の形の和菓子を運んできてくれました。

「お菓子が甘くて美味しい」「お抹茶も全然苦くなくて飲みやすい」などとかなり好評。お替りがほしいという声も上がった。室内なりに茶会を満喫されたようです。



お抹茶は味わい深いですね

いつもと違う雰囲気がい刺激となり、気分転換にもなりました。

今回の行事に参加して沢山の笑顔に出会うことができました。それは、入社3年目の春を迎えて仕事に一層やりがいを感じた時でした。

○灌仏会で心晴れ晴れと

特養介護士 菅澤 洋介

4月5日には灌仏会も執り行われました。

それは釈迦誕生を祝う仏教行事で花祭とも言われ、日本では原則として4月8日に行われていきます。花で飾ったお堂に祀られたお釈迦様の仏像に、柄杓で甘茶を注ぎかけて拝みます。これは、お釈迦様は旧暦4月8日に生誕したという伝承に基づくものです。

井上ご住職による説法は、当日の春の嵐を吹き払う様に清々しく、心地よい話でした。時には真剣に時には笑いも誘って、入所者の皆さんの心が晴れ晴れとしてくるのが表

情から窺がえました。

一人ひとり、祭壇お堂のお釈迦様に甘茶をかけていきます。皆さん、何をお願ひしながら甘茶を注いでいたのでしょうか？ 最後にお供えのお菓子を受け取ると、大事そうにポケットにしまう方、すぐに食べてしまう方など、終始笑顔の絶えない灌仏会でした。

新年度始まったばかりのこの一年、皆さんに良いことがありそうですね。



説法を有り難く拝聴します

美光ハイム

○茶話会は外食で

介護士 萩森 明子

3月の定例行事として茶話会があります。入居者の皆さんに、どのような内容で行いたいかりクエストしてみたところ、要望が一番多かったのは、例年通り「外食に出かけたい」でした。今度は「何を食べに行きましょうか？」と皆さんに伺うと、あれこれ希望が出たので多数決で決める事となつて、結局お好み焼きと和食で落ち着きました。

全員に参加して頂けるように、4日間に分けて実施しました。各当日とも皆さん待ちきれない様子で、定刻より大分早く集合されていました。

車に乗り込むと「何を食べようかな？」と自然に会話が弾みます。いつもより早い昼食となりましたが、お腹一杯とは言いながら、デザートまで食べられた方もいらつしやいました。やはりデザートは別腹のようです。



幸せ一杯の茶話会です

その日の夕食時のあちらこちら、外食の話題で会話が弾んでいました。茶話会の目的が達成でき、皆さんにも喜んで頂けてとても良かったです。

倶楽荘

○結婚六十周年を迎え

特養入居者 中川 松王

結婚六十周年を迎え、感謝感激の思い出より。

一、嬉しかった事：協同組合の全国ネットがブロードバンド化し、一万五千人の組合員との開通が出来た事。

二、楽しかった事：吉田方校区社会教育委員長として成人式典を四年間開催した中で、毎年百八十人の新成人が式典に参列し、特に女性の艶やかな着物の晴れ姿を見ながらの祝辞に力が入った事。

三、感激した事①：金婚式を迎えて、高齢者福祉大会で祝状と記念品の金杯を頂き、私達夫婦で乾杯して喜びあった事。

四、感激した事②：社会奉仕で、愛知県法人会連合会等多数の団体・協会より表彰状を受理した事。

七十三才で脳梗塞を患いましたが、皆様のおかげで今では休まずに10mを歩けるまで回復し、感謝の他ありません。毎日お世話になっている私共中川夫婦と家族としまして、結婚六十周年を迎えるにあたり、改めて今後共よろしくとお願い申し上げます。



貞子奥様 (GH入居) と共に

GHくらり

○春を感じる梅花見

GH介護士主任 竹下能子

二月下旬から三月初旬にかけて、向山公園に梅の花見に出かけました。

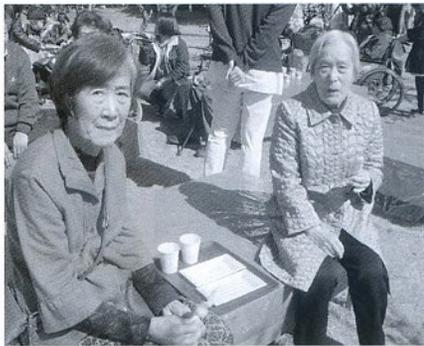
梅の花は五分咲きから八分咲きで、数々の普通の梅やしだれ梅に、赤や白の様々な花が見事に咲いていました。入居者の皆さんは四方八方の梅の花を見渡しなが、五感をフルに働かせて春を全身で感じていました。

一通り園内を観て回ったところで、それぞれのお小遣いで茶店のお団子を買って食べました。何でもないことのようにですが、入居者の方々にはお出かけの楽しみと、外で自分の好きな物を買って

良い空気の中で食べるこ
とが出来ると喜びは、とて
も大きいようです。

家に居られた頃は、花

が咲けば花見に出かけ、
食べたいものがあれば自
由に外に出かけていたこ
とでしょう。その頃を思
い出して頂けるよう、そ
して少しでも懐かしんで
頂けるように、私たちが
お手伝いをしていきたい
と思っています。色々な
ことに気づける介護をこ
れからもしていきます。



茶店のお団子も懐かしく

ス楽荘

○生活相談員として

生活相談員 榊原隆誌

一誠福祉会に入社して
より、私は介護士として
勤務してきました。直接
お年寄りと関わり続け
てきましたが、ス楽荘開設
より生活相談員の業務も
兼務し、それまで以上に
ご家族とお話しする機会
が多くなりました。

相談員の立場を強く意
識するのはご家族の意向
を聞く時です。その場面
も希望も千差万別ですの
で、その思いにどう応え
ていくのか？ それを私
個人として、またス楽荘
全体として考える日々が
続いています。

度々ニュースでも取り
上げられてきた介護報酬

改定が、30年度から実施
されました。その主軸と
なるのが自立支援と重度
化防止です。特養では既
に27年度の改定より入
所用件が原則要介護3以
上となっており、より重
度とならないための対応
が求められています。



お年寄りの気持ちも確認しながら (写真左=筆者)

年を重ねることに出来
る事が限られてきます。
しかし、より多くの意向
に定める為に、介護士と
してまた相談員として、
これからも日々精進して
いこうと思っています。

ベルヴェューハイツ

○懐かしの蒸しパン作り

老健事務長 夏目 民夫

ベルヴェューハイツでは「食」に関してのレクリエーションとして、定期的に入所者の皆さんと一緒に「おやつ作り」をしています。

色々な食材を使い、入所者の皆さんと職員が話し合って企画するおやつ作り。入所者の皆さんが若かりし頃の「手作り感」たっぷりのおやつを職員に伝授したり、職員から教えてもらった最近人気の食材を入所者の皆さんが馴染みやすくアレンジしたりと、毎回の「食レク」を楽しんでいます。今回は、入所者の皆さんの要望により「蒸しパン

作りとなりました。トッピングは、あの懐かしい「甘納豆」です。



利用者さんと共同で蒸しパン作り

毎回思うのですが、入所者の皆さんよりも職員の方が楽しんでいるようです。それでも入所者の皆さんにとっては、料理を喜んでもらうのが嬉しいようで、「どう、おいしいかい？」と子や孫のように職員に語りかけながら、微笑み一杯お腹も一杯、ご満足の様子でした。

○ホワイトデーの梅見学

老健事務長 夏目 民夫

3月14日のホワイトデー、老健ベルヴェューハイツでは少し早めの花見に豊川の「ぎよぎよランド」まで出かけました。

当日は良い天気でしたが桜見学には少し早く、梅見学となりました。そこには25種281本の梅木が栽培されており、また桜の花とは違う落ち着い



見事に咲く梅の花に感動の連続

た風情が味わえました。風はやはりまだ冷たく感じましたが、皆さんが「綺麗だね」と口々に言い合っているのが、楽しそうにさ



梅木を背景に通路で記念撮影

多くの梅木を眺めながら、久しぶりに外の空気を吸いながら、今回持参したのはホワイトデーのクッキーならぬ「おせんべい」。梅の花にはお茶もぴったりと合い、格別な美味しさも楽しめてとても満足の皆さんでした。

OSCC吉かわ

○桜咲く雛祭りイベント

介護士 大坪 三恵

3月3日、雛祭りイベントを開催しました。室内には豪華絢爛な七段飾りの雛人形が飾られ準備万端。今日のイベントを楽しんでいたかどうかと誓い、一日が始まりました。昼食は見た目も豪勢、特別メニューのちらし寿司。いつもより食欲が増し、「もう食べれんぐらいお腹パンパン」の方続出で、皆さん満足気でした。午後のレクリエーションの時間には、B紙を2枚半も繋げた大きなキャンバスに、皆さんで桜のアート絵を作成。まずは墨と筆で迫力ある幹と枝を描き、新聞紙を丸めた

だけのボールに桜色の絵の具をたっぷり付けて、ポンポンするだけの手法です。しかしこれがまた、とても良いタッチの桜風景を生み出します。



見事な芸術的手法！

利用者さんからの提案で月を追加すると夜桜と変わり、満開の桜のとても素敵な作品に仕上がりました。同じ手法で個性あのお土産も完成です。おやつには桜の香り漂う桜餅をいただき、充実した一日となりました。

麗楽荘

○防災訓練の重要性

特養介護士主任 松下 拓郎

三月十四日、夜間の地震・火災を想定した防災訓練を実施しました。訓練とはいえ室内に警報が流れると緊張感が高まり、「これ小さくて頭が入らないよ」などとサイズ合わせにも一苦労し、ヘルメットを被ることにさえ焦ってしまいう展開でした。何とか避難の準備が出来ると、今度はスロープを使用して二階から下の駐車場へ避難します。急な滑り台のようになっていくスロープの前に立つと、「こんなところ滑っていいの?」「こりやおそがいな」と、入所者の方だけでなく補助する職員も

腰が引けてしまう程でしたが、何とか無事に皆さん屋外へ避難することができました。

今回は日中の訓練となりましたが、実際に夜間に災害が起きた場合、周りが暗闇で更に避難が困難になると思われます。いつ起こるか分からない災害に備えるための訓練を、これからも繰り返し重ねていくことの重要性を、改めて感じさせられる防災訓練でした。



ここを滑れと言われても…

○楽しい手芸教室

デイ介護士 杉浦有紀

デイサービスセンター麗楽荘では、3か月に1度手芸教室を開催しています。今回は樹脂粘土を使用しての、梅の花の形をした箸置き作りとネットレス作りです。

色の付いた樹脂粘土を丸めて梅の花びらを作る過程では、助手の私は苦戦しましたが、参加された利用者の方々はお互いにバランスを確認し合いながら作成されて、大小色とりどりの梅の花が完成しました。

箸置きが完成した後は、2色の樹脂粘土をマープル上に混ぜ合わせ、ネットレス作りにも挑戦して

みました。個性的な形をした模様の素敵なネットレスが完成すると、お互いに首に掛けて見せ合ったり、褒め合ったりしていました。



リハビリ効果もあって一挙両得

手芸教室が終了すると皆さんから、「今度は、いつ頃やるの?」「次は、何作るのかね?」といった催促の声が聞かれました。皆さんの期待に応えられるように知恵を絞り、今後も楽しめる教室を提議できるといいます。

和光ハイム

○矢部八幡神社祭礼

生活相談員 川崎俊弘

日中は春めいて暖かく過ごしやすいようになってきた三月十日と十一日、矢部八幡神社の祭礼行事が執り行われました(現在は神社改築中の為、神事は仮遷座されている公民館が会場となりました)。

三月十日には、矢部地区の子供神輿が来荘してくれました。力強いかけ声とともに、神輿を担いで歩く元気な姿に入居者の皆さんも感動され、子供さん達からパワーをもらってご機嫌でした。

翌十一日には、矢部地区の方々による「振る舞い」に参加させていただき、焼きそばやフランク

フルト・綿菓子などをいただきました。初めて参加された入居者の方は、「美味しいけれど、こんなに沢山もらってもいいのよね?」と気を配ったり、時折鳴り響く爆竹花火の音を気にされながらも、お祭りの雰囲気を楽しまれていました。

来年もまた、入居者の皆さんと今改築中の矢部八幡神社に出かけて、地区の方々と共に賑やかな祭礼を迎えることを今から楽しみにしています。



振る舞いも祭礼の楽しみ

GHUURU

○梅林へお花見に

介護士 齊藤 百合子

桃の節句も過ぎた三月六日、豊川市赤塚山公園の梅林へ入居者四名と職員二名でお花見に出かけました。

朝の曇天から一転、素晴らしい快晴となり心が弾みます。往路、道路脇から菜の花畑の黄色い絨毯が春の訪れを告げていました。途中お店に寄って、お花見に付き物「花見団子」を三種購入し、一路赤塚山公園へ。

平日にも拘わらず人も車も多く、賑やかでワクワクしました。まずは梅林を背に皆さんの笑顔のパチリ。「ここ、前に来たことあるよ。綺麗だね」



お花見 楽しいですよ～♪

と話しかけてくるKさん。梅林散策組と花より団子組に分かれ、それぞれ楽しみました。団子組は、頬張りながら「もうひとつこれも食べて良い？」「美味しいね」などと満足そう。そして散策から戻ったお二人も、笑顔で団子組に合流しました。「梅美しく咲きて 団子心と腹を満たす」などと一人悦に入りながら、入居者の皆さんの笑顔も花咲くお花見となりました。

奇楽荘

○運営推進会議

介護士副主任 柳生 康紀

奇楽荘では2ヶ月ごとに1回の年6回、ご家族の皆さんや地域の方々に参加して頂き運営推進会議を開催しています。

運営状況の報告や入居者の皆さんの生活の様子を紹介するのが主な内容でしたが、回を重ねるごとに地域に対する施設の役割などを考えるようになりました。「折角の機会なので、より有意義な会にしてほしい」との声から、インフルエンザ・ノロウイルスへの対処法やAEDの使い方、また講師の方を招いての講義など、趣向を凝らし会議を進めるようになりました。



熱心な話し合いが続きます

また時には相談やお願いの場ともなり、少しずつ意見交換の会議へと変化してきました。地区の防災時の連携などから、防災訓練にも参加させて頂けるようになり、入居者の方々の地域社会への参加の機会も増えています。これからも施設や入居者の方々が地域の一員として繋がっていけるよう、この会議を大切にしていきたいと考えています。



○新城の再発見

介護士 水野 忍

私たちの街「新城」には、自然と触れ合える場所、戦国時代から今に繋がる歴史を学べる場所があります。しかも道中には、道の駅「こんたく長篠」「もつくる新城」「つくで手作り村」「鳳来三河三石」が整備されて、気軽にお出掛けできるようになりました。

そこで、入居者の方々数名と、道の駅に立ち寄りつつ、昔からある「長篠城址史跡保存館」で開催されている春の特別展「絵葉書にみる新城の風景」へと向かいました。そこには湯谷温泉・鳳来寺山・乳岩峡、そして



長篠城址史跡保存館にて

長篠古戦場等々、昔の新城の風景が描写された絵葉書が数多く展示されていました。入居者の皆さんは、「懐かしいなあ」「行ったことがあるよ」とそれぞれ感嘆の連続で、真剣に見入っていました。私も今更ながら、新城の自然と歴史を再発見して、楽しさを実感することができました。さあ、いよいよ春の到来です。今度は何処に出かけましょうか？

本部 日誌

- 平成30年3月
 - 1日 経営陣プロジェクト「準職員制度」第4回キャリアパス研修(於 B.V.H)
 - 6日 後援会豊橋懇親会(於 龍)
 - 7日 平成30年度新人職員研修(於 作業荘、10日・12日・15日)
 - 12日 法人創立30周年記念事業実行委員会(於 斯楽荘)
 - 13日 採用選考面接(於 作業荘)
 - 14日 本部会議(於 B.V.H)
 - 17日 平成30年度新人職員研修(於 T.S.K)
 - 17日 第10回理事会(於 T.S.K)
 - 28日 第4回評議員会(於 作業荘)
 - 30日 法人創立30周年記念式典(於 ホテルアソシア 豊橋)
- 平成30年4月
 - 2日 平成30年度入社式・辞令交付式(於 作業荘)
 - 6日 採用選考筆記試験(於 作業荘)
 - 11日 本部会議(於 B.V.H)
 - 18日 後援会豊橋理事会(於 B.V.H)
 - 18日 木の花会総会・新人職員歓迎会(於 ホテルアークリッシュ 豊橋)
 - 19日 キャリアパスの運用と研修①(於 麗楽荘)
 - 24日 採用選考面接(於 B.V.H)
 - 25日 後援会新城理事会(於 麗楽荘)
- 平成30年3月
 - 9日 包括管理者会議(高須 於 豊橋市役所) 福岡地区民生委員定例会(包括 於 福岡地区市民館)
 - 12日 包括管理者会議(包括 於 豊橋市役所)
 - 13日 荘内研修茶々倶楽部
 - 14日 職種別会議(保健師職(高須 於 清水センター))
 - 18日 誕生日会
 - 田村 トシさん(90歳)・伊藤 道子さん(92歳)
 - 川尻 涼子さん(69歳)・守屋 いづみさん(92歳)
 - 坂田 ヲヤ子さん(71歳)・笹野 とくさん(101歳)
 - 中川 ハルさん(92歳)・彦坂 ヤスさん(88歳)
 - 本塚 ヨシ子さん(86歳)・小泉 啓子さん(69歳)
 - 山田壽子さん(93歳)・高橋 菜さん(84歳)

作楽 荘日誌

- 20日 河内ハルコさん(87歳) 介護保険事業者連絡会(包括 居宅 於 ライフポートとよはし)
- 22日 職種別会議(主任ケアマネ)渡邊 於 清水センター)
- 27日 職種別会議(社会福祉士(白井主任 大塚副主任 於 豊橋市役所) 荘内研修茶々倶楽部
- 平成30年4月
 - 2日 平成30年度入社式・辞令交付式(於 作業荘)
 - 4日 音楽ボランティア(歌の輪会)
 - 4日 音楽ボランティア(おたまじやくしの会)
 - 5日 春の茶会
 - 9日 給食会議
 - 10日 荘内研修茶々倶楽部
 - 11日 寿司祭り
 - 13日 本部会議(於 B.V.H)
 - 13日 後援会豊橋理事会(於 B.V.H)
 - 13日 福岡地区民生委員定例会(於 福岡地区市民館)
 - 16日 誕生日会
 - 八木 茂さん(79歳)・藤城 ちずるさん(96歳)
 - 廣田 きよさん(93歳)・鈴木 秀子さん(88歳)
 - 深谷 ふじさん(93歳)・錦井 はる江さん(85歳)
 - 平尾 かね子さん(91歳)
 - 17日 生花クラブ(講師 林先生)
 - 17日 音楽ボランティア(日本の歌愛唱会)
 - 18日 ビデオ演奏会(全野先生)
 - 19日 木の花会総会・新人職員歓迎会(於 ホテルアークリッシュ 豊橋)
 - 20日 絵手紙教室(講師 神藤先生)
 - 24日 荘内研修茶々倶楽部
 - 25日 後援会新城理事会(於 麗楽荘)
 - 26日 連絡会議
 - 音楽ボランティア(おたまじやくしの会)
- 平成30年3月
 - 1日 茶道クラブ(講師 西口先生)
 - 3日 ひな祭り
 - 13日 カラオケクラブ(講師 白川先生)

美光ハイム日誌

倶楽荘日誌

平成30年3月

- 14日 書道クラブ(講師 岩田先生)
- 15日 華道クラブ(講師 田中先生)
- 20日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
- 27日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
- 平成30年4月
- 5日 春の茶会
- 灌仏会
- 茶道クラブ(講師 西口先生)
- 10日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
- 11日 書道クラブ(講師 酒井先生)
- 17日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
- 19日 華道クラブ(講師 田中先生)
- 24日 カラオケクラブ(講師 白川先生)

- 7日 平成30年度新人職員研修(萩原・立花 於 作楽荘・T.S.K. 10日・15日・17日)
- 8日 高齢者虐待に関する研修(田中・井本 於 ライフポートとはし教育会館第2研修室)
- 13日 運営推進会議
- 22日 介護保険指定事業者説明会(工藤主任 於 豊川市文化会館)
- 27日 防災訓練(特養・GH合同)
- 28日 習字教室
- 30日 法人創立30周年記念式典(於 ホテルアンシア豊橋)

- 3月 誕生日者
- 神谷規矩子さん(88歳)・北宮 米子さん(92歳)
- 中島 信子さん(87歳)・名取美代子さん(87歳)
- 平成30年4月
- 2日 入社式・辞令交付式(於 作楽荘)
- 10日 荘内研修茶々倶楽部(24日)
- 18日 木の花会総会・新人職員歓迎会(於 ホテルアークリッシュ豊橋)
- 19日 キャリアパスの運用と研修①(竹本主任・竹下主任・工藤主任 於 麗楽荘)
- 4月 誕生日者
- 鈴木 君代さん(99歳)・白井みつ江さん(99歳)
- 田中 附子さん(87歳)

新楽荘日誌

平成30年3月

ベルヴェーハイツ日誌

平成30年3月

- 7日 新人職員研修(於 作楽荘・T.S.K. 10日・12日・15日・17日)
- 15日 外出(向山公園)
- 16日 運営推進会議
- 19日 外出(向山公園)
- 22日 事業者説明会(伊藤 於 豊川文化会館)
- 29日 防災訓練
- 3月 誕生日者
- 鈴木みさ子さん(87歳)
- 平成30年4月
- 9日 連絡会議
- 18日 木の花会総会・新人職員歓迎会(於 ホテルアークリッシュ豊橋)
- 23日 入居者健康診断(於 タキカワ整形外科クリニック・5月18日)
- 4月 誕生日者
- 瀧井 徳伊さん(69歳)

- 1日 経営陣プロジェクト(準職員制度)第4回 キャリアパス研修(於 B.V.H)
- 3日 ひな祭り
- 6日 明照保育園園児慰問
- 7日 職種別会議(堀内主任 於 あいトピア)
- 7日 平成30年度新人職員研修(於 作楽荘 10日・12日・15日)
- 8日 防災訓練
- 8日 ケアマネ交流会(堀内主任 於 B.V.H)
- 三河ブロック事務長部会(夏目事務長・滝川主任・今泉副主任 於 安城市勤労福祉会館)
- 9日 管理者会議(堀内主任 於 あいトピア)
- 10日 愛老健介護報酬改定セミナー(滝川主任・市川主任・高橋副主任・今泉副主任・野口・高津副主任・山田三ツ矢 於 名古屋国際会議場)
- 13日 施設内研修茶々倶楽部(講師 林先生・菅沼先生)
- 15日 音楽療法(おたまじゃくしの会)
- 17日 平成30年度新人職員研修(於 T.S.K)
- 20日 理事会(於 T.S.K)
- ピアノ演奏(夏目音楽教室)
- 介護保険指定事業者説明会(堀内主任・菅沼・山崎 於 ライフポート豊橋)

- 23日 生け花3F(講師 佐藤先生)
- 24日 広域ケア会議(堀内主任 於 あいトピア)
- 24日 カラオケ(山吹里の会)
- 26日 湯谷温泉フェスタ(31日)
- 27日 音楽療法(ボの会)
- 施設内研修茶々倶楽部(講師 林先生・菅沼先生)
- 職種別会議(社会福祉士)菅沼 於 豊橋市役所
- 28日 評議員会(作楽荘)
- 30日 一誠福祉会30周年記念式典
- 平成30年4月
- 2日 入社式・辞令交付式(於 作楽荘)
- 6日 灌仏会
- 9日 音楽療法(ハッピースマイルクラウン)
- 10日 職種別ケア会議(堀内主任 於 あいトピア)
- 11日 施設内研修茶々倶楽部(講師 林先生・菅沼先生)
- 一誠福祉会後援会豊橋理事会(於 B.V.H)
- 12日 本部会議(於 B.V.H)
- 12日 音楽療法(H.I.S.A.K.O)
- 17日 ケアマネ交流会(堀内主任 於 B.V.H)
- 18日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田 於 コープ中央)
- 18日 木の花会総会・新人職員歓迎会(於 アークリッシュ豊橋)
- 19日 ピアノ演奏(夏目音楽教室)
- 19日 音楽療法(おたまじゃくしの会)
- 21日 和太鼓(吉川太鼓・鼓流)
- 23日 業務打ち合わせ会(堀内主任・菅沼 山崎 於 豊橋市役所)
- 24日 湯谷温泉フェスタ(28日)
- 施設内研修茶々倶楽部(講師 林先生・菅沼先生)
- 職種別会議(社会福祉士)菅沼 於 豊橋市役所
- 25日 一誠福祉会後援会新城理事會(於 麗楽荘)
- 27日 音楽療法(ボの会)
- 28日 生け花3F(講師 佐藤先生)
- 車椅子ダンス(山吹里の会)

DSG吉かわ日誌

平成30年3月

- 29日 誕生日会
- 30日 和太鼓(豊丘高校)
- 平成30年3月
- 3日 雛祭り
- 5日 温泉フェスティバル・桃湯(10日)
- 6日 給手紙教室(講師 鈴木先生他2名)
- 15日 福祉施設訪問(中部中学校生徒3名)
- 23日 習字教室(講師 佐藤先生)
- 24日 全体ミーティング
- 平成30年4月
- 5日 温泉フェスティバル・桃湯(10日)
- 10日 給手紙教室(講師 鈴木先生他2名)
- 27日 習字教室(講師 佐藤先生)

麗楽荘日誌

平成30年3月

- 3日 雛祭り
- 6日 愛知県老人福祉施設大会(福井主任 於 ウィンクあいち)
- 9日 荘内研修茶々倶楽部
- 10日 矢部八幡神社祭礼(11日)
- 13日 給食会議
- 14日 防災避難訓練
- 15日 新城市介護認定審査会(夏目香副主任 於 新城市役所)
- 15日 書道クラブ
- 16日 生け花クラブ
- 16日 連絡会議
- 23日 入所判定会議
- 3月 誕生日者
- 加藤 忠教さん(92歳)・皿谷美代子さん(88歳)
- 黒田ふみまさん(95歳)・伊藤かみ子さん(98歳)
- 伊藤志げ子さん(88歳)・石黒 藤平さん(90歳)
- 上野ひでよさん(86歳)
- 平成30年4月
- 2日 入社式・辞令交付式(於 作楽荘)
- 4日 書道クラブ
- 7日 灌仏会
- 10日 給食会議
- 13日 荘内研修茶々倶楽部
- 18日 木の花会総会・新人職員歓迎会(於 ホテルアークリッシュ豊橋)

和光ハイム日誌

- 19日 生け花クラブ
- 20日 連絡会議
- 25日 入所判定会議
- 27日 後援会新城理事会(於麗楽荘)
- 27日 荘内研修茶々倶楽部
- 4月 誕生日者
- 浅井 きわさん(99歳)・山本 ゆきさん(89歳)
- 山田 やまさん(87歳)・上野 孝夫さん(89歳)
- 黒田奈津子さん(86歳)・奥野 正信さん(91歳)
- 福吉 春枝さん(90歳)・鈴木 ふささん(95歳)
- 3日 雑祭(桃の節句を楽しむ会)
- 5日 和の会
- 9日 荘内研修茶々倶楽部
- 10日 矢部八幡神社祭礼(11日)
- 12日 おやつ作り
- 13日 体操教室
- 14日 給食会議
- 14日 防災避難訓練
- 16日 連絡会議
- 22日 大正琴教室
- 23日 荘内研修茶々倶楽部
- お茶を楽しむ会
- 24日 誕生日者
- 25日 体操教室
- 27日 健康チェック
- 28日 書道教室
- 30日 法人創立30周年記念式典
- 3月 誕生日者
- 横道てるおさん(92歳)・夏目 竹治さん(86歳)
- 平成30年4月
- 2日 入社式・辞令交付式(於作楽荘)
- バスハイク(花見、4日)
- 5日 和の会
- 7日 灌仏会
- 10日 給食会議
- 12日 体操教室
- 13日 大正琴教室
- 16日 荘内研修茶々倶楽部
- 18日 おやつ作り
- 木の会花会総会・新入職員歓迎会(於ホテル)
- 20日 アークリッシュ(豊橋)
- 連絡会議

GHIJ日誌

- 24日 健康チェック
- 25日 書道教室
- 26日 体操教室
- 27日 生け花教室
- お茶を楽しむ会
- 平成30年3月
- 3日 雑祭
- 9日 荘内研修茶々倶楽部
- 10日 矢部八幡神社祭礼(11日)
- 14日 防災避難訓練
- 16日 連絡会議
- 23日 荘内研修茶々倶楽部
- 24日 運営推進会議
- 25日 のんはいルロット
- 27日 お花見(於桜測公園)
- 28日 認知症カフェ
- 30日 法人創立30周年記念式典
- 3月 誕生日者
- 石田キヨ子さん(88歳)
- 平成30年4月
- 2日 入社式・辞令交付式(於作楽荘)
- 7日 灌仏会
- 13日 荘内研修茶々倶楽部
- 18日 木の会花会総会・新入職員歓迎会(於ホテル)
- 20日 アークリッシュ(豊橋)
- 22日 連絡会議
- 24日 のんはいルロット
- 27日 はぐるまの会
- 4月 誕生日者
- 神谷美代子さん(86歳)

奇楽荘日誌

- 1日 パンドミー荘内販売
- 5日 雑祭
- 9日 荘内研修茶々倶楽部(於麗楽荘)
- 10日 運営推進会議
- 16日 連絡会議
- 19日 レインボーハウス荘内販売
- 23日 防災訓練
- 荘内研修茶々倶楽部
- 平成30年3月
- 1日 パンドミー荘内販売
- 5日 雑祭
- 9日 荘内研修茶々倶楽部(於麗楽荘)
- 10日 運営推進会議
- 16日 連絡会議
- 19日 レインボーハウス荘内販売
- 23日 防災訓練
- 荘内研修茶々倶楽部

GHIJ日誌

- 29日 桜測公園さくらまつり
- 30日 法人創立30周年記念式典
- 平成30年4月
- 2日 入社式・辞令交付式(於作楽荘)
- 5日 パンドミー荘内販売
- 13日 荘内研修茶々倶楽部
- 18日 木の会花会総会・新入職員歓迎会(於ホテル)
- 20日 アークリッシュ(豊橋)
- 27日 連絡会議
- レインボーハウス荘内販売
- 27日 荘内研修茶々倶楽部
- 平成30年3月
- 1日 寿司祭り
- 2日 雑祭(於長篠ほうらい開発センター)
- 4日 ランチタイムコンサート
- 6日 雑祭(於二川宿本陣資料館)
- 7日 雑祭(於作手歴史民族資料館)
- 9日 荘内研修茶々倶楽部
- 10日 花見(於きよきよランド)
- 14日 花見(於川元)
- 16日 連絡会議
- 22日 牡丹餅作り
- 23日 運営推進会議
- 25日 荘内研修茶々倶楽部
- のんはいルロット
- 3月 誕生日者
- 村田 鈴子さん(90歳)・中西喜和子さん(80歳)
- 平成30年4月
- 3日 麗楽荘グループ合同花見(於富岡地区)
- 7日 菟足神社の風祭
- 8日 うなごうじ祭
- 9日 灌仏会(於麗楽荘)
- 10日 笹掘り(於日吉地区)
- 12日 春のパン祭り
- 13日 荘内研修茶々倶楽部
- 18日 木の会花会総会・新入職員歓迎会(於ホテル)
- 20日 アークリッシュ(豊橋)
- 22日 連絡会議
- 27日 のんはいルロット
- 4月 誕生日者
- 田中 扶さん(78歳)・今泉 佐美さん(79歳)

編集後記

ついこの間までは桜花を見上げながら歩いてきたのに、もう若葉がまぶしい季節となりました。一誠福祉会の各施設において、自然の移り変わりにも気づかないまま、多岐多端な年度替わりの日々を送ったのは私だけではなかった筈です。一大イベントの法人創立30周年記念事業を無事終えたことに安堵していただきます。同時に、改めてこの30年間法人のためにご尽力頂いた、亡き名誉会長はもとより、先人・先輩の方々に感謝したいと思います。

そして、この春入社の新入職員の皆さんには、将来の一誠福祉会の歴史に新たな一ページを刻めるような、頑張り活躍を期待しています。周りの先輩職員たちは、皆さんへの助力を惜しみませんから。

(H・K)